

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場会社名 住金物産株式会社
 コード番号 9938 URL <http://www.sumikinbussan.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 天谷雅俊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部長 (氏名) 前田茂
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東大

TEL 03-5412-5003

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	1,027,842		16,976		15,304		6,781	
20年3月期第3四半期	984,548	12.9	17,416	17.4	15,978	19.1	8,995	12.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
21年3月期第3四半期	41.35	
20年3月期第3四半期	54.83	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円銭	
21年3月期第3四半期	441,563		51,864		11.3		303.13	
20年3月期	402,047		49,831		11.9		291.36	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 49,710百万円 20年3月期 47,785百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期		5.00		6.00	11.00
21年3月期(予想)		5.50		5.50	11.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	1,300,000	1.1	17,500	23.0	15,500	23.0	6,100	44.2	37.20

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 会計基準等の改正に伴う変更 有
 以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	164,534,094株	20年3月期	164,534,094株
期末自己株式数	21年3月期第3四半期	539,427株	20年3月期	524,985株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	163,997,490株	20年3月期第3四半期	164,047,032株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年3月期の連結業績予想につきましては、平成20年10月30日に公表した連結業績予想を修正いたしました。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]3. 連結業績予想に関する定性的情報、及び平成21年1月30日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(参考) 平成21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,160,000	△0.4	12,500	△25.0	12,000	△19.3	2,500	△68.6	15.24

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無: 有

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年3月期の個別業績予想につきましては、平成20年5月1日に公表した個別業績予想を修正いたしました。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、平成21年1月30日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

<業績の概況>

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライム問題に端を発した世界的な金融不安の波を受け、株価の大幅な下落や原油などの商品市況の低下に見舞われました。製造業をはじめとする日本企業は設備投資の圧縮に続き、大幅な生産調整に乗り出すなど、景気は日を迫る毎に悪化の度合いを強めてまいりました。

このような経営環境の中、当社グループの売上高は1兆278億円となり、前年同期に比べ432億円、4.4%増加しました。

損益につきましては、経常利益が、153億4百万円となり、前年同期に比べ6億74百万円、4.2%減少しました。特別損失として投資有価証券評価損などを計上した結果、四半期純利益は67億81百万円となり、前年同期に比べ22億14百万円、24.6%減少しました。

<事業の種類別セグメントの概況>

(鉄鋼)

鉄鋼業界におきましては、原材料価格の高騰により鋼材価格の大幅な引き上げが行われ、当社グループの鉄鋼売上高は増加いたしました。第3四半期に入り、鋼材需要の後退に伴い、取り扱い数量は急速に減少してまいりました。売上高は3,906億円となり、前年同期に比べ274億円、7.5%増加しました。営業利益は81億82百万円となり、前年同期に比べ13億73百万円、20.2%増加しました。

(鉄鋼原料・半製品)

鉄鋼原料・半製品の売上高は、価格の上昇により拡大いたしました。売上高は2,586億円となり、前年同期に比べ388億円、17.7%増加しましたが、営業利益は5億87百万円となり、スクラップ価格の下落などにより前年同期に比べ1億9百万円、15.7%減少しました。

(機械・金属)

産業機械業界におきましては、民間設備投資の減速が第3四半期に入って顕著になってまいりました。売上高は1,348億円となり、大型発電設備の売上計上があった前年同期に比べ250億円、15.7%減少しました。営業利益は24億99百万円となり、前年同期に比べ2億62百万円、9.5%減少しました。

(繊維)

繊維業界におきましては、景気の減速を受け、個人消費が伸び悩み、特に百貨店など大型小売店での衣料品の販売が大きく落ち込むなど、厳しい状況で推移しました。売上高は1,269億円となり、前年同期に比べ25億円、1.9%減少しましたが、営業利益は42億2百万円となり、販売費及び一般管理費の削減などにより前年同期に比べ2億69百万円、6.8%増加しました。

(食糧)

当社グループの食糧事業の中心であります輸入食肉業界におきましては、食肉価格が夏場から下落に転じ、特に輸入ブロイラーの価格は大きく下落いたしました。売上高は1,156億円となり、前年同期に比べ46億円、4.2%増加しましたが、営業利益は10億94百万円となり、ブロイラーのたな卸資産評価損の計上などにより、前年同期に比べ18億31百万円、62.6%減少しました。

(その他の事業)

その他の事業には倉庫、テナントビルの不動産賃貸等の事業が含まれております。その他の事業の売上高は11億円となり、前年同期に比べ82百万円、6.6%減少しましたが、営業利益は4億6百万円となり、販売費及び一般管理費の減少などにより前年同期に比べ1億14百万円、39.0%増加しました。

なお、前年同期比は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第3四半期末の資産は4,415億円となり、受取手形及び売掛金やたな卸資産の増加などにより、前期末に比べ395億円増加いたしました。負債は3,896億円となり、支払手形及び買掛金の増加などにより前期末に比べ374億円増加いたしました。純資産は518億円となり、株価の下落による評価・換算差額等の減少はありましたが、四半期純利益の計上などにより前期末に比べ20億円増加いたしました。

(2) キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は91億円となり、前期末に比べ6億円増加いたしました。

営業活動による資金の減少はたな卸資産の増加などにより8億円となりました。投資活動による資金の減少は、有形固定資産の取得などにより20億円となりました。

財務活動による資金の増加は短期借入金による資金調達などにより38億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しにつきましては、日本企業は世界同時不況による国内・海外市場での大幅な需要の減少と商品価格の下落に直面しており、急激な円高とあいまって日本経済の先行きは非常に厳しい状況となっております。

このような経済情勢を踏まえ、当社グループの業績予想を修正しております。修正後の通期の業績予想は、売上高1兆3,000億円、営業利益175億円、経常利益155億円、当期純利益61億円を見込んでおります。

詳細につきましては本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。なお、この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

③ リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が会計基準等適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

これにより、リース資産が有形固定資産に12百万円計上されております。なお、この変更に伴う損益に与える影響はありません。

④ セグメント情報の事業区分の変更

第1四半期連結会計期間よりセグメント情報の事業区分を変更しております。詳細については11ページ「(5)セグメント情報」に記載しております。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,244	8,569
受取手形及び売掛金	280,046	259,126
有価証券	-	15
たな卸資産	69,810	54,618
その他	28,451	20,952
貸倒引当金	3,066	3,094
流動資産合計	384,485	340,188
固定資産		
有形固定資産	27,961	26,989
無形固定資産		
のれん	394	445
その他	730	886
無形固定資産合計	1,125	1,331
投資その他の資産		
その他	33,502	39,212
貸倒引当金	5,512	5,675
投資その他の資産合計	27,990	33,537
固定資産合計	57,077	61,859
資産合計	441,563	402,047
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	272,060	241,730
短期借入金	75,814	69,898
未払法人税等	2,296	5,515
賞与引当金	408	1,488
役員賞与引当金	-	72
その他	20,569	13,779
流動負債合計	371,149	332,485
固定負債		
長期借入金	13,430	13,959
退職給付引当金	2,413	2,520
役員退職慰労引当金	368	519
負ののれん	345	433
その他	1,990	2,297
固定負債合計	18,549	19,730
負債合計	389,699	352,216

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,335	12,335
資本剰余金	7,086	7,090
利益剰余金	31,090	26,606
自己株式	183	179
株主資本合計	50,329	45,854
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	800	2,125
繰延ヘッジ損益	984	824
土地再評価差額金	75	76
為替換算調整勘定	510	552
評価・換算差額等合計	618	1,930
少数株主持分	2,153	2,045
純資産合計	51,864	49,831
負債純資産合計	441,563	402,047

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	1,027,842
売上原価	973,073
売上総利益	54,768
販売費及び一般管理費	37,792
営業利益	16,976
営業外収益	
受取利息	470
受取配当金	353
負ののれん償却額	88
持分法による投資利益	388
その他	624
営業外収益合計	1,924
営業外費用	
支払利息	2,360
その他	1,236
営業外費用合計	3,596
経常利益	15,304
特別利益	
投資有価証券売却益	246
出資金売却益	43
関係会社貸倒引当金戻入額	113
特別利益合計	402
特別損失	
減損損失	156
投資有価証券売却損	29
投資有価証券評価損	2,577
特別損失合計	2,763
税金等調整前四半期純利益	12,944
法人税、住民税及び事業税	6,185
法人税等調整額	176
法人税等合計	6,009
少数株主利益	153
四半期純利益	6,781

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
売上高	319,737
売上原価	303,398
売上総利益	16,338
販売費及び一般管理費	12,539
営業利益	3,799
営業外収益	
受取利息	131
受取配当金	107
負ののれん償却額	29
その他	115
営業外収益合計	384
営業外費用	
支払利息	811
持分法による投資損失	265
その他	586
営業外費用合計	1,664
経常利益	2,519
特別利益	
投資有価証券売却益	63
出資金売却益	1
貸倒引当金戻入額	104
関係会社貸倒引当金戻入額	113
特別利益合計	282
特別損失	
投資有価証券売却損	27
投資有価証券評価損	2,575
特別損失合計	2,602
税金等調整前四半期純利益	200
法人税、住民税及び事業税	1,307
法人税等調整額	388
法人税等合計	919
少数株主利益	43
四半期純損失()	763

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	12,944
減価償却費	1,296
減損損失	156
のれん償却額	157
負ののれん償却額	88
貸倒引当金の増減額 (は減少)	175
賞与引当金の増減額 (は減少)	1,094
退職給付引当金の増減額 (は減少)	113
受取利息及び受取配当金	823
支払利息	2,360
持分法による投資損益 (は益)	388
投資有価証券評価損	2,577
投資有価証券売却損益 (は益)	216
出資金売却損益 (は益)	43
売上債権の増減額 (は増加)	21,256
たな卸資産の増減額 (は増加)	15,435
仕入債務の増減額 (は減少)	30,514
その他	874
小計	9,497
利息及び配当金の受取額	1,348
利息の支払額	2,314
法人税等の支払額	9,399
営業活動によるキャッシュ・フロー	867

(単位:百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	2,400
有形固定資産の売却による収入	147
投資有価証券の取得による支出	724
投資有価証券の売却による収入	417
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	160
短期貸付金の増減額(は増加)	59
長期貸付けによる支出	70
長期貸付金の回収による収入	180
その他	145
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,083
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	6,427
長期借入れによる収入	2,360
長期借入金の返済による支出	3,011
配当金の支払額	1,877
少数株主への配当金の支払額	71
その他	10
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,816
現金及び現金同等物に係る換算差額	190
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	674
現金及び現金同等物の期首残高	8,429
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,104

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	鉄鋼 (百万円)	鉄鋼原料・ 半製品 (百万円)	機械・金属 (百万円)	繊維 (百万円)	食糧 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	124,076	75,875	38,546	41,969	38,894	375	319,737	-	319,737
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	332	4	466	-	-	788	1,591	(1,591)	-
計	124,408	75,879	39,012	41,969	38,894	1,163	321,328	(1,591)	319,737
営業利益又は営業損失(△)	2,475	136	550	1,126	△ 665	167	3,790	8	3,799

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	鉄鋼 (百万円)	鉄鋼原料・ 半製品 (百万円)	機械・金属 (百万円)	繊維 (百万円)	食糧 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	390,639	258,618	134,813	126,987	115,618	1,165	1,027,842	-	1,027,842
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	946	14	1,484	0	-	2,207	4,652	(4,652)	-
計	391,586	258,633	136,297	126,987	115,618	3,373	1,032,495	(4,652)	1,027,842
営業利益	8,182	587	2,499	4,202	1,094	406	16,971	4	16,976

(注) 1. 事業区分は、経営管理上採用している区分ならびに販売市場等の類似性を勘案しております。

2. 各事業の主な商品

- (1) 鉄鋼 …………… 鋼管、鋼板、建材、建設工事
- (2) 鉄鋼原料・半製品 …………… 製鉄原料、製鋼原料、鉄鋼半製品
- (3) 機械・金属 …………… 非鉄金属、機械、条鋼線材、鋳鍛品
- (4) 繊維 …………… 繊維製品、繊維原料
- (5) 食糧 …………… 食肉、水産物他
- (6) その他の事業 …………… 不動産賃貸他

3. 事業区分の変更

従来、事業区分は、「鋼材」、「繊維」、「食糧」、「鉄鋼原料・半製品」、「機械・建設・非鉄金属他」の5区分としておりましたが、第1四半期連結会計期間より「鉄鋼」、「鉄鋼原料・半製品」、「機械・金属」、「繊維」、「食糧」、「その他の事業」の6区分に変更いたしました。

この変更は、従来商品の種類や性質を重視した事業区分を行ってまいりましたが、内部管理上採用しているカンパニー制との整合性も考慮し、より販売市場や販売方法の類似性を重視した事業区分に変更すべく関連情報を収集する体制の整備を進めてきた結果、第1四半期連結会計期間よりシステムで情報を収集、管理する体制が整ったことによるものであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しているため、事業区分の変更による影響額については記載しておりません。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結会計期間(自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

○(要約)前四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)	(参考)増減	
	金額	金額	金額	増減率(%)
売上高	1,027,842	984,548	43,294	4.4
売上原価	973,073	929,203	43,870	4.7
売上総利益	54,768	55,344	△ 576	△ 1.0
販売費及び一般管理費	37,792	37,928	△ 136	△ 0.4
営業利益	16,976	17,416	△ 440	△ 2.5
営業外収益	1,924	2,577	△ 653	△ 25.3
営業外費用	3,596	4,014	△ 418	△ 10.4
経常利益	15,304	15,978	△ 674	△ 4.2
特別利益	402	146	256	175.3
特別損失	2,763	620	2,143	345.6
税金等調整前四半期純利益	12,944	15,504	△ 2,560	△ 16.5
法人税、住民税及び事業税	6,185	4,984	1,201	24.1
法人税等調整額	△ 176	1,296	△ 1,472	-
少数株主利益	153	228	△ 75	△ 32.9
四半期純利益	6,781	8,995	△ 2,214	△ 24.6

「参考資料」

○セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前年同四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)

	鉄鋼 (百万円)	鉄鋼原料・ 半製品 (百万円)	機械・金属 (百万円)	繊維 (百万円)	食糧 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	363,219	219,806	159,850	129,495	110,929	1,247	984,548	-	984,548
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,011	-	1,339	10	-	2,386	4,747	(4,747)	-
計	364,231	219,806	161,189	129,505	110,929	3,633	989,295	(4,747)	984,548
営業利益	6,809	696	2,761	3,933	2,925	292	17,418	(2)	17,416

(注) 1. 11ページに記載の通り当連結会計年度より事業区分の変更を行っております。前年同四半期の事業の種類別セグメント情報については、区分変更後に遡及修正しております。

2.各事業の主な商品

- (1) 鉄 鋼 …… 鋼管、鋼板、建材、建設工事
- (2) 鉄鋼原料・半製品 …… 製鉄原料、製鋼原料、鉄鋼半製品
- (3) 機械・金属 …… 非鉄金属、機械、条鋼線材、鋳鍛品
- (4) 繊維 …… 繊維製品、繊維原料
- (5) 食糧 …… 食肉、水産物他
- (6) その他の事業 …… 不動産賃貸他